

3. 新たな沖縄振興におけるMICEの位置付け

沖縄振興基本方針（令和4年5月10日内閣総理大臣決定）

Ⅲ 沖縄の振興に関する基本的な事項

1 観光、情報通信産業、農林水産業その他の産業の振興に関する基本的な事項

(1) 観光・リゾート産業

・・・、文化・芸能、自然環境等の沖縄独自の地域資源を活用した滞在型観光の推進や、健康、農業等の他の分野・産業と観光との連携促進を図るとともに、スポーツ交流拠点の形成や **MICEの誘致・開催を図る**。・・・

新・沖縄21世紀ビジョン基本計画

（令和4年5月15日 沖縄県）

基本施策3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して

(2) 世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革

オ マリントウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興

① MICE振興とビジネスツーリズムの推進

- ・ マーケティング力や分析能力等の強化、ニーズを踏まえた誘致やMICEブランドを踏まえたプロモーション等
- ・ 本県の優位性を生かしたMICEの開催・誘致に向けた支援
- ・ 「安全・安心なMICE開催地」の取組の国内外への発信と主催者や参加者と開催地等を結び付ける取組の推進

② マリントウンMICEエリアを核とした全県的なMICE受入体制の整備

- ・ マリントウンMICEエリアにおいて大型MICE施設整備の推進と、宿泊施設や集客施設等の立地促進などMICEを中心とした魅力あるまちづくり
- ・ 沖縄MICEネットワークを活用した連携強化、施設間の協同による大型MICE案件の受入促進、MICE主催者等のニーズを踏まえた基盤の整備などの全県的なMICE受入体制の整備

③ MICEを活用した関連産業の振興

- ・ 沖縄MICEブランドの構築や、安全・安心なMICE開催と高付加価値なMICEコンテンツや受入プログラムの開発等
- ・ 情報通信、物流関連、ものづくり、飲食・小売など様々な事業者によるMICE関連ビジネスへの展開の促進

(参考) 沖縄県マリンタウンMICEエリアの形成に向けて

大型MICE施設のコンセプト

「沖縄の観光リゾートの魅力」と「産業振興」の拠点となる大型MICE施設

—MICE振興とビジネスツーリズムの推進—
—ビジネス交流のプラットフォームとなる中核施設の形成—

整備運営の方向性

アジアのトレードハブとなる施設

- 国内外の国際会議や大型展示会を誘致できる施設規模や機能を有する施設
- 沖縄のリゾート性、マリンタウンの魅力を発信する施設
- 沖縄のシンボルとなる施設

多様な催事ニーズを受け入れる施設

- 地元催事イベントやビジネスツーリズムを誘致できる施設
- 県内最大規模の屋内コンサートが開催可能な施設
- エリアMICEの実現を推進する施設

マリンタウンエリアのまちづくりを先導する施設

- 整備・運営の両面においてサステナビリティに配慮した施設
- デジタル技術活用による利便性の向上とともに、県内DXを先導する象徴的施設



出所：マリンタウンMICEエリアまちづくりデザイン（平成30年8月）

4. 国際会議等各種会議の沖縄開催の推進

「国際会議等各種会議の沖縄開催の推進について」(平成12年6月20日閣議了解)

- 「国際会議等各種会議の沖縄開催の推進に係る各省庁連絡会議」の設置
- 向こう5年間の計画策定等
- 誘致活動の強化
- 国際会議等の受け入れの円滑化

沖縄県を国家戦略特別区域「国際観光拠点」に位置づけ

(国家戦略特別区域を定める政令(平成26年5月1日政令第178号))

「世界水準の観光リゾート地を整備し、ダイビング、空手等の地域の強みを活かした観光ビジネスを振興するとともに、沖縄科学技術大学院大学を中心とした国際的なイノベーション拠点の形成を図ることにより、新たなビジネスモデルを創出し、外国人観光客等の飛躍的な増大を図る。」

「安全なMICEの再開と発展に向けた今後の取組の方向性について」

(令和4年4月観光庁 安全なMICEの再開と発展に向けた関係者協議会とりまとめ(概要)より)

- 安全なMICE再開に向けた、日本としての姿勢の発信・アクション
- デジタル化など新たな課題への対応
- MICEの意義の再定義と認知度の向上
- 国の産業政策当との連携、マーケティング戦略の高度化
- 一般観光とMICE誘致との連携
- 開催地としての魅力の向上
- アカデミアにおけるMICE誘致開催意欲の喚起
- 新たな課題への対応

(参考①) 国際会議開催実績例

1. 太平洋島嶼国観光実務者会合 2017年2月9日～10日

- 主 催 観光庁(首脳会議、レセプション)、沖縄県(ウェルカムレセプション、視察ツアー等関連行事)
- 参加国・地域 日本、クック諸島、キリバス、マーシャル、ミクロネシア、パラオ、トンガ、ツバル、ニウエ、サモア、ナウル、フィジー、バヌアツ、パプアニューギニアの計14カ国及び同域内における観光分野の地域機関である南太平洋観光機関(South Pacific Tourism Organization)



●プログラム内容

2/9 ・沖縄県主催ウェルカムレセプション

(於沖縄美ら海水族館)

・視察ツアー(首里城、サンゴ苗作り体験など)

2/10 ・太平洋島嶼国観光実務者会合(於万国津梁館)

・観光庁主催レセプション(於万国津梁館)



(参考②) 国際会議開催実績例

2. 第16回島しょ観光政策フォーラム(ITOP) 2012年11月6日～8日

- 主催 沖縄県
- 参加者 タイ・プーケット県、インドネシア・バリ州、中国・海南省、韓国・済州道、スリランカ・南部州および沖縄県の計6地域の知事ら45名 ※特別参加として、大洋州のパラオ、バヌアツ、サモアから6名



(上) 首里城でのウェルカムレセプション



(上) 共同声明調印式・プレスカンファレンス



(上) 実務代表者会議



(上) 首里城でのウェルカムレセプション

(参考③) 国際会議開催実績例

3. 第6回太平洋・島サミット 2012年5月25日～26日

- 主催 外務省(首脳会議)、沖縄県(レセプション、昼食会、エクスカージョン等関連行事)
- 参加国・地域 日本、太平洋島嶼国13カ国1地域(※)、オーストラリア連邦、ニュージーランド、米国(計17カ国1地域)
- (※)13カ国:クック諸島、フィジー共和国、キリバス共和国、マーシャル諸島共和国、ミクロネシア連邦、ナウル共和国、パラオ共和国、パプアニューギニア独立国、サモア独立国、ソロモン諸島、トンガ王国、ツバル、バヌアツ共和国 1地域:ニウエ



● 沖縄主催プログラム

1. 歓迎セレモニー(於宮古島市)
2. 沖縄県知事主催昼食会(於宮古島市)
3. 第6回太平洋・島サミット交流会・高校生サミット提言式(於宮古島市)
4. 総理主催晩餐会における沖縄のうた紹介(於名護市)
5. 夫人プログラム(於恩納村)
6. お見送り(於那覇市)
7. 高校生太平洋・島サミット(於宮古島市)

5. 2023年G7 関係閣僚会合の誘致について

- 沖縄県は、2023年G7 関係各庁会合の誘致計画案で、次の3施設を提案。
 - ① 万国津梁館（恩納村）
 - ② 沖縄コンベンションセンター（宜野湾市）
 - ③ 琉球ホテル&リゾート名城ビーチ（糸満市）
- 沖縄県が進める施策との関連の高い、「環境」「情報産業」「科学技術」に係る関係各庁会合の誘致に取り組んでいる。

リゾート環境を整えた魅力ある会場

プランA:万国津梁館&ザ・ブセナテラス



那覇空港から
車で約75分

プランB:沖縄コンベンションセンター



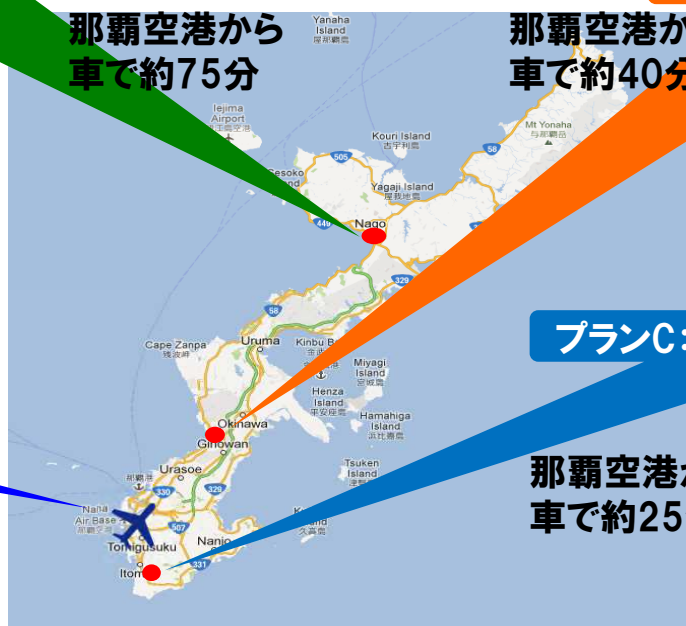
那覇空港から
車で約40分

プランC:琉球ホテル&リゾート名城ビーチ



那覇空港から
車で約25分

那覇空港



(参考) 琉球ホテル&リゾート 名城ビーチ

新規開業予定 MICE対応ホテル

2022年7月に、「琉球ホテル&リゾート名城ビーチ」が糸満市に開業。
那覇空港から車で約20分の好アクセス環境にあり、最大1,000名が収容可能な大宴会場を完備した、MICE対応ホテル。

外観



①大宴会場



②ガーデン



概要

- ・天然の砂浜の美しいビーチに面した約50,000㎡の広大な敷地
- ・452室の全客室がオーシャンビュー
- ・心と体に安らぎを与える琉球をイメージしたインテリアやアート。

特徴

- ・大中小併せて9つの宴会・会議スペースを用意
- ・大宴会場・ホワイエ・ガーデン利用で、最大2,000名パーティーが実施可能
- ・最新の音響、照明設備で印象的なMICEを演出
- ・大宴会場にはシェフのパフォーマンスを愉しめるライブキッチンを完備
- ・那覇市内のグループホテルとの分宿が可能